

研究機関名：東北大学

受付番号： 2012-1-125
研究課題名 被災地の子どもの発育状況等に関する調査
研究期間 西暦 2012 年 6 月（倫理委員会承認後）～2015 年 3 月
対象材料 <input type="checkbox"/> 病理材料（ ） <input type="checkbox"/> 生検材料（ ） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 ■その他（健康診断データ等の既存資料） 上記材料の採取期間 西暦 2012 年 6 月～2015 年 2 月
意義、目的 東日本大震災により甚大な被害を受けた東北 3 県の小児医療中核施設である東北大学小児科（宮城県）、岩手医科大学小児科（岩手県）、福島県立医科大学小児科（福島県）が一致協力し、被災地のこどもの発育・成長を、当該市町村の乳幼児健康診査、保育園、幼稚園、小学校、および中学校の健康診断のデータを基に横断的・縦断的に調査・分析し、被災地の子供の発育状況の評価や必要な小児保健的介入等について検討する。被災地の子どもの身体発育に震災前と後で異なる点はないかを明らかにし、今後の被災地支援に寄与することを目的とする。
方法 既存の乳幼児健診、身体測定、定期健康診断のデータを収集して解析する。基本的に新たな調査は実施しない。乳幼児健診データを用いて、震災前に出生した子どもと震災後に出生した子どもの比較および被災地外の子どもと身長、体重及び身体発育に影響を与える要因を比較する。2012 年にパイロット調査を宮城県岩沼市で実施する。幼稚園、保育園の調査では、身長、体重の既存データを入手する。震災を経験した園児と、していない園児の発育状況を横断的に比較する。小学校、中学校の調査では、平成 22 年度～平成 24 年度の定期健康診断のデータを入手する。身長、体重、栄養状態、視力、聴力、保健調査のデータを全国データもしくは対照となる地域と比較する。
実施責任者 〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1 東北大学医学系研究科・小児病態学分野 呉 繁夫 問い合わせ・苦情等の窓口 〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1 東北大学医学系研究科・分子疫学分野 栗山 進一 022-717-8105